

代表質問



にじ代表
杉本智美 議員
が問う！

ピロリ菌検診と帯状疱疹
予防接種を行うべき!!

検診及び予防接種等について

これまで市民の健康のため、各種がん検診や高齢者肺炎球菌予防接種、新型コロナウイルスワクチン接種等、検診や予防接種において費用の無料化や助成を行ってきたが、近年の病症や予防を考慮し、ピロリ菌検診や帯状疱疹予防接種を行うべきと考えるが、市の所見を伺う。

Q. ピロリ菌の検診及び治療費を負擔する考えについて伺う。

A. 日本へリコバクター学会は、胃がん予防のために中学生以上を対象としたピロリ菌の診断と除菌を推奨している。また、相馬郡医師会も早期の除

代表質問



そうま市民の会代表
浦島勇一 議員
が問う！

任期満了に伴う出処進退は?

市長の政治姿勢について

今定例会では、新年度に於ける予算案・各事務事業の審査、議決に資する提案がなされた。年度当初に於ける市長挨拶は市勢方針等の説明があつてしかるべきである。また、新年度中に立谷市長の任期満了を迎えるが、その出処進退について伺う。

Q. R7年度の行政経営方針について伺う。

A. 市は、相馬市マスタープラン2017において、「市民参画による協働で創る相馬市」、「安全・安心が実感できる相馬市」、「子どもたちが将来に希望

代表質問



新時代そうま代表
山中宣明 議員
が問う！

これまでと同様の財源確保では
市民サービスの低下につながる
のではないかと!!

人口減少に伴う行政サービス維持のための歳出の考え方と自主財源確保の取組について

財政調整基金を2年続けて約16億円を一般会計へ繰り出しており、一般家庭で考えれば、貯金を生活費等の不足分に充ている事と同様であり、可能な限り財政調整基金から繰り出さず、財源を確保していくべきと考え、質問する。

Q. 持続可能な行政サービス維持と歳出の考え方について伺う。

A. 市は、常に変化する社会情勢や市民ニーズを把握し、歳入に見合った収支均衡による財政運

その他の質問

- 地方創生2.0の取組について
- カーボンニュートラル実現に向けた取組について



Q. 帯状疱疹予防接種の費用を補助する考えについて伺う。

A. 国は令和6年12月18日に帯状疱疹を予防接種法上のB類疾病と位置づけ、令和7年4月1日から定期接種を実施すると決定した。対象者は基本的に、年度内に65歳になる方と、60歳から64歳でHIVによる免疫機能障害がある方としている。

接種するワクチンは、組換えワクチンと生ワクチンの2種類があり、それぞれ接種方法や費用が異なる。市は、国の定期接種化の決定に基づき、令和7年度相馬市一般会計予算に接種費用を計上し、国が示す接種費用の7割を助成することにより、2回接種が必要な組換えワクチンの自己負担額は2回分で13,200円、1回のみ接種の生ワクチンは1回分で2,600円となる見込みである。今後、医療機関に接種実施を依頼し、対象者や接種方法、助成内容等について広報紙やホームページ、SNSなどで周知していく。

その他の質問

- 水俣条約に伴う照明LED化等への移行について
- 放課後児童クラブの運営について
- 農業振興と農地利用の推進について



Q. 市長職の任期満了を迎えるが、進退について伺う。

A. 今後の進退については、私個人だけではなく、家族をはじめ、今まで市長としての政治活動を支えてくださった方々及び諸団体の皆様と話し合いを経ずに決めることはできず、現段階でお答えできる状況にはない。

その他の質問

- 市内公共交通の在り方について
- 除雪対策について
- スポーツリズムを通じた光陽サッカー場の利活用について



Q. 今後の自主財源の確保について伺う。

A. 市は、自主財源確保として、市税の適正賦課と収納率向上、ふるさと納税の推進、企業誘致による工業団地販売促進、光陽地区における石炭灰の受入れ事業等の取り組みを実施してきた。具体的には、収納率向上のため管理職徴収やコンビニ納付、工業団地売却のためトップセールスや市職員の企業訪問による誘致活動、企業版ふるさと納税制度のPRなどを実施してきた。また、光陽地区の石炭灰受入れ事業では産業廃棄物処理処分場の規模拡張を行うとともに、適切な運営・管理に努めている。

市は、自主財源の確保に向け、これらの取組を継続し、特に企業誘致に関しては土地売却収入や雇用増による増収が見込めることから、今後も注力していく。